

園名	ミアヘルサ保育園ひびき富士見台
対象	練馬区富士見台2-2-25 さくらビル1階
活動スケジュール	2歳児 8名 6月10日(水) 7月21日(火) 8月28日(金)
年間テーマ	音(いろいろな音に耳を傾ける)

1 活動テーマ

- ・6月→公園遊び
- ・7月→水遊び
- ・8月→氷遊び

2 探求活動の内容

- ・公園内でステンレス製とプラスチック製の滑り台を叩いた時の音の違いに気付く。また砂遊びをしている中でバケツを使った時と、ジョーロを使った時に聞こえてくる音の違いや勢いを観察する。
- ・水遊びを通して聞こえてくる音をみんなで探してみる。(スロープから水を流す音、霧吹きや水鉄砲から出てくる際の音、タライに手を入れた時の音など)
- ・氷を色々な容器に入れた際に聞こえてくる音や器具を使って叩いた時の音を耳を澄ませて聞いてみる。

3 活動中の子どもの姿や声、子ども同士や保育者との関わり

6月 公園内で遊んでいる際に保育者がステンレスとプラスチック製の滑り台を叩いてみせる。「こっちの滑り台はどんな音が聞こえる?こっちの滑り台はどうか?」と問いかけると「カンカン」「キーンって聞こえる。」「なんか音が響いてる」「こっちはコンコンって言ってる。」と叩きながら音の違いに気付く事ができた。また砂場ではバケツに入れた水とジョーロに入れた水を流す際にどんな音がするのか聞いてもらおうと「ジャー」「サササー」「ビシャー」など各々が感じた音の表現をする事ができた。

7月 水遊びの中で霧吹きを使った際には「シュッシュ」「シュー」水鉄砲では「ピュー」「ピチョ」ウォーターテーブルのスロープから水を流すと「ザー」「雨の音みたい」などと答えていた。

8月 製氷機の氷をまずはみんなで触ってみる。氷同士がぶつかり合うと「カチカチって言ってる」「なんかピキーンって聞こえる」など氷が温度差によって発する音に気付く子もいた。またステンレスのボウルに氷を上から落とした音には「カーン」「チャリーン」「お金みたい」やプラスチック容器では「シャカシャカ」「ポコポコ」など独特な表現をする子もいた。牛乳パックで凍らせた氷をおままごと用の包丁で叩いてみると「ドーン」「ポンポン」「ガリガリ」など各々が聞こえてくる音を言葉で表現する事ができた。

【写真】



5 振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

普段は何気なく遊んでいる公園の中で、聞こえてくる音や水遊びを通して聞こえてくる音、氷と言う材料を使用している音などテーマを設定して、改めて子どもたちに聞こえてくる音を子どもたちなりの表現で表す事ができた。使うものや叩く素材を変えることにより同じものでも音が変化することに気づき、聞くだけから聞こえてくる音を口に出しながら繰り返し行う姿が見られた。また初めは音の表現を言葉にすることは難しくても、保育者の言葉がけ一つで子どもたちから出てくる音の表現力が大きく変化した。今後も子どもたちの「やってみたい」「これはどんな音がするのかな？」という気持ちや興味を大切に、身近な素材に触れながら音の違いを楽しめるような遊びを取り入れていきたい。